



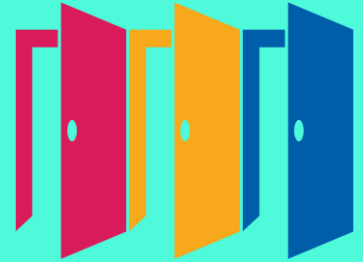
Isehara Rotary Club

International Rotary District 2780th/Group#7

2020-2021 年度 第 2678 回例会

令和 2 年 12 月 2 日 (水) 曇り

RI 会長/ホルガー・クナーク
地区ガバナー/久保田 英男 (鎌倉 RC)
会長/築城 忠生
幹事/天野 耕一郎
会報委員長/田村 貴寿



ロータリーは機会の扉を開く

会長挨拶



2020-2021 年度/築城 忠生会長

外はすっかり冬モードになってきて、寒くなってきました。先程、私の取引先の一ノ関のビール工場から電話があり、一ノ関ではもう氷が張って寒さが一段と増しているようです。本日は第7グループのガバナー補佐の小山様、IM 実行委員長の中村様にお越し頂いております。1/23 の IM のデモンストレーションをして頂きます。今日は第一水曜日ですので、先程理事会がございました。皆さんご承知の通りコロナ感染拡大が第3波となり、全国的に凄い勢いで広がっています。伊勢原でも 11 月下旬に多くの感染者が出ています。ここは自粛モードにしないでほしいと思います。本日の例会と 12/9 の例会をリアルな顔を合わせての例会とさせていただきます。12/16 のクリスマス例会は家庭でクリスマスを楽しんで頂くと言う事で、クリスマス用の食事をテイクアウトして頂きます。場所は未定ですが、どこかにクリスマス用の食材を取りにきていただく事とします。1/6 には 3 クラブ合同の例会 (賀詞交換会) を予定しておりましたが、これもまだ決定ではありませんが、中止になる予定です。1/13、23 は予定通り例会を行います。この 2 回が 1 月の例会となります。詳しい案内資料等はメールにてお送りします。

点鐘

築城 忠生 会長

ロータリーソング

君が代・奉仕の理想
四つのテスト 村上一秋会員

司会

田中 徹 会長エレクト

お客様

小山輝彦様/第 7G ガバナー補佐(伊勢原平成ロータリークラブ)
中村眞英様/IM 実行委員会委員長(伊勢原平成ロータリークラブ)

今後の予定

- 12/9 [第 2679 回] クラブ年次総会
- 12/16 [第 2680 回] 休会(クリスマス例会中止)
- 12/23 [第 2681 回] 特別休会
- 12/30 [第 2682 回] 特別休会
- 1/6 [第 2683 回] 休会(3RC 合同例会中止)
- 1/13 [第 2684 回] 会長卓話

幹事報告

★ガバナー事務所より

- 11 月のロータリーレートのお知らせが配信されております。1 ドル = 105 円
- 新型コロナウイルス拡大防止に向けた「国際ロータリー日本事務局在宅勤務のお知らせ」が配信されております。
- 新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件についてお知らせが配信されております。
- 米山学友同窓会開催のお知らせが配信されております。5 月 23 日(日)来年になりましたら詳細をお知らせいたします。
- 2020 年 12 月「疾病予防と治療月間」のリソースのご案内が配信されております。

★例会変更のお知らせ

秦野 RC
12 月 8 日(火) 臨時休会
12 月 15 日(火) 通常例会
12 月 22 日(火) 休会
12 月 29 日(火) 休会(年末)

★認定特定非営利活動法人 地域福祉を考える会より

ニュースレターが届いております。

スマイル報告

磯崎貴史/スマイル委員長

小山輝彦様、中村眞英様
築城忠生君、天野耕一郎君、田中徹君、東学君、
松下孝君、飯田隆三君、井戸川秀治君、
堂前慶之君、東井重和君、瀧尾ゆかり君、
鈴木康弘君、堀口雅巳君、磯崎貴史君

[入会記念祝い] 土屋修君



出席報告

堀口雅巳/出席副委員長

会員数	出席計算に用いた数	出席者数	出席率(%)	前々回修正出席率(%)
53	52	32	61.43	なし
MAKE UP				
なし				

表彰式

[財団寄付]

松下孝君/メジャードナー レベル 1
土屋修君/ポール・ハリス・フェロー



委員会報告

<鈴木康弘/R財団委員長>

[財団寄付]

[米山寄付]

3口のご寄付をいただきました。 3口のご寄付をいただきました。

<東学/クラブ管理運営委員会統括委員長>

My Rotary まだ未登録の方はお手伝いいたしますので、ご登録よろしくお願いたします。

お客様

[I・Mのご案内]

小山輝彦様/第7G ガバナー補佐(伊勢原平成ロータリークラブ)

こうしてリモートを通じて皆さんにご挨拶させて頂くのは、コロナ感染拡大に伴い、通常通りに IM を開催できなくなった為です。IM は6つの会場に別れて、それぞれ ZOOM で繋げて開催する方法を選びました。伊勢原 RC の皆さんには伊勢原シティプラザの研修室にお集まり頂き、スクリーンを通じて IM に参加して頂きたいと考えています。コロナの感染拡大によって、今までのやり方は通用しなくなり、世の中が大きく変化しました。これに対応すべく、ロータリーも変化していかなくてはなりません。では、どのように変化して行くのか? これを考えることを目的とした IM にしたいと思っています。今年度の IM のテーマは「これからのロータリーの在り方」とします。リモートを使つての例会もこれからのロータリーの在り方だと思います。皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解の程よろしくお願いたします。

中村真英様/IM 実行委員会委員長(伊勢原平成ロータリークラブ)

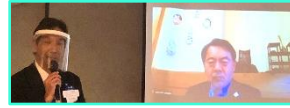
日時: 2021年1月23日(土) 登録開始 13:30~ 場所: 秦野会場/秦野市商工会議所 伊勢原会場/伊勢原シティプラザ

フォーラム① パネルディスカッション/パネラー各クラブ1名

1. デジタルシフトについて 2. 環境問題について 3. 奉仕事業について

フォーラム② 濟州島、台湾のクラブとつなげます。

登録料: 7,000円(飲食無し) よろしくお願いたします。



卓話

大澤守門君/コロナ禍でのデザイン業界



今はコロナの第3波で皆さん大変ご心配な日々を過ごされていると思います。まず、現状のコロナの状況について発表します。

2020/12/1 現在 全世界で 59 カ国が依然として感染者が増加

6300 万人が感染、死亡者 146 万人

欧州では次々とロックダウンが発生

スペインでは来年5月まで緊急事態宣言が続きます

アメリカでは1日の新規感染者が 10 万人を突破

(伊勢原市民が 10 万人ですので、それが全員 1 日で感染したという数です。)

日本の現在累積感染者数 15 万 1 千人、重傷者数は 493 人、死亡者は 2193 人

都道府県別の感染者数は、神奈川県は 12000 人を超え、伊勢原は 56 人

今年ならではの言葉が生まれる 濃厚接触、3密、クラスター等

2020 年の流行語大賞は「3密」

濃厚接触の定義

「必要な感染予防策をせずに手で触れること、また互いに手を伸ばせば届く距離で一定時間以上の接触があった場合」

オーバーシュートとは

「爆発的な増加」で本来金融市場や証券で使われていた言葉ですが、「行き過ぎる、度を越す」ということで、感染が爆発し、

想定よりもオーバーした時にオーバーシュートとする

これからの時期、忘年会は控えるとしても宴席が多くなるとしますので、皆さん注意して下さい。対策に関する言葉も色々

ありました。「緊急事態宣言、特措法、ロックダウン、ソーシャルディスタンス」。ステイホームは東京でありました。オンライン

飲み会も一時流行りましたが、現在ではそう多くありません。

しかしリモートは定着しており、どの業界でもリモートは進んでいます。デザイン業界は確実にリモートが定着しています。

■コロナ禍でのデザイン業界

私の関わっているデザイン業界はお客様との接見ができないので、リモートでの打合せになりました。

1990 年代中頃まで デザインは全て手作業でやっているアナログな職人の世界

1990 年後半 DTP へ移行し、デジタル化が進む

2000 年辺り~ アップルから DTP 専門のソフトが出てきたので、版下をデータで作るこ

とができるようになり、WEB が活性化

私はこの頃から始めたので、先輩達の大変さを知りません。逆に先輩達は新しいデジタルソフトについて行けず、辞めてい

た人もいます。印刷も自分で出来るようになって来て、楽になった分、デザイナーが全てを行って完全データで入稿しなくて

はいけなくなりました。このことにより、デザイナーの業務範囲は随分広がりました。

2010 年辺りには、それまで必要だったカメラマンやコピーライターは会社では雇えなくなり、フリーランスに転向するしか

なくなりました。そしてデジタル化について行けなかった大手デザイン会社は廃業していきました。

~今のデザインの仕事~

クラウドサービスを使ってデータ管理。WEB を経由してのデータ送信

LINE を始めとする 5 大 SNS と YOUTUBE の発達で、業務がオンラインヘシフト

~これからのデザインの仕事~

AI 化が加速。大容量のデータ送信が可能になるため、動画コンテンツが広告の種になる。

コンテンツ編集会社が増える。

~デザイン事業の強み~

アイデアやデザイン力は頭の中にあるもの。周辺技術が発達してもカタチにするビジュアルスキルがあれば応用がきく。

コロナの時代だからこそ、身体が基本です。RC の活動を通して地域と繋がりたいと思います。

